

世田谷版気候市民会議 (2024年度実施)

第1回 気候危機についての理解を深めよう！

2025年1月26日(日) 13:00～16:30

世田谷区立教育総合センター 研修室(たいよう)

開会、主催者挨拶

主催者挨拶
(世田谷区環境政策部長 中西さん)

【目的】

- ✓ 世田谷区は、近年の気候危機に立ち向かうため、2020年10月に「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（＝脱炭素化）」を目指すことを表明しました。
- ✓ この会議では、この問題について学びながら議論を重ね、身近な暮らしの脱炭素化に向けた取り組みをまとめます。

【参加者】

- ✓ 無作為に抽出した世田谷区民から応募者を募り、世代構成や男女比が区の縮図となるように55名の参加者を選びました。

参加者：世田谷区民 55名（16～78歳）

主催：世田谷区

企画相談：三上直之氏

名古屋大学 大学院環境学研究科
社会環境学専攻 環境政策論 教授

講師：各回のテーマに沿った専門家（計3名）

ファシリテーター：世田谷区職員

運営：アオイ環境株式会社



参加者同士の自己紹介

【お話頂く内容】

- ✓ 呼ばれたいお名前
- ✓ カードを1枚とり、そこに書かれた質問にご回答ください！
- ✓ 参加申し込みをした理由 など

【順番・時間】

- ✓ 1番明るい色の服を着ている人から時計回り
- ✓ 1人1分程度

終了時刻
13:13

世田谷版気候市民会議の 概要と狙い

【概 要】

- ✓ 「脱炭素化」の進め方を行政や専門家が決めてしまうのではなく、市民が主役となって話し合い、提案する会議

【ポイント】

- ✓ 参加者：社会の縮図となるように無作為に選ばれた市民
- ✓ 進め方：バランスのとれた情報提供を受けて、参加者主体で「脱炭素化」の進め方を検討
- ✓ 成 果：検討結果を「政策提言」としてまとめ、行政に提出



- ✓ 行政は、効果的な政策を生み出すために活用

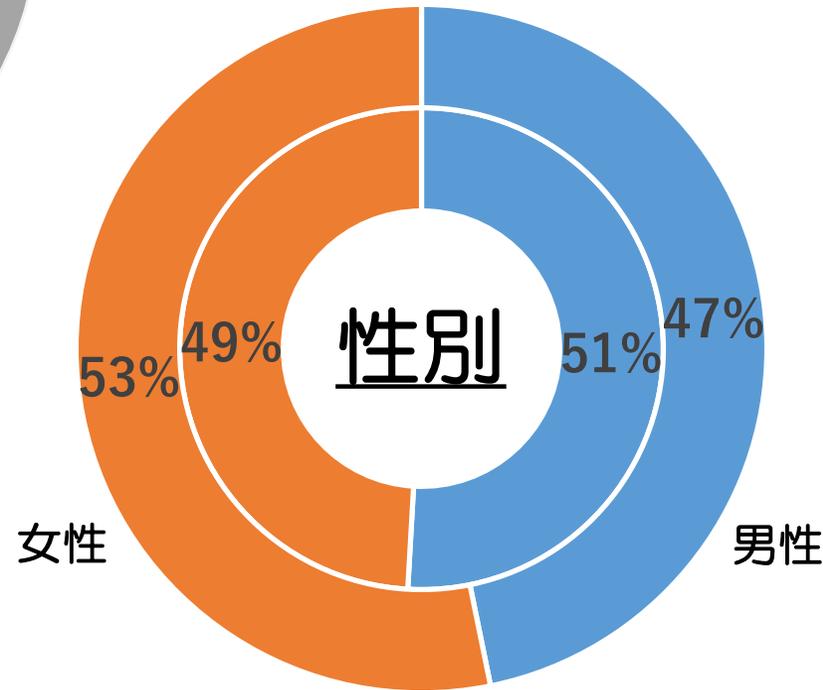
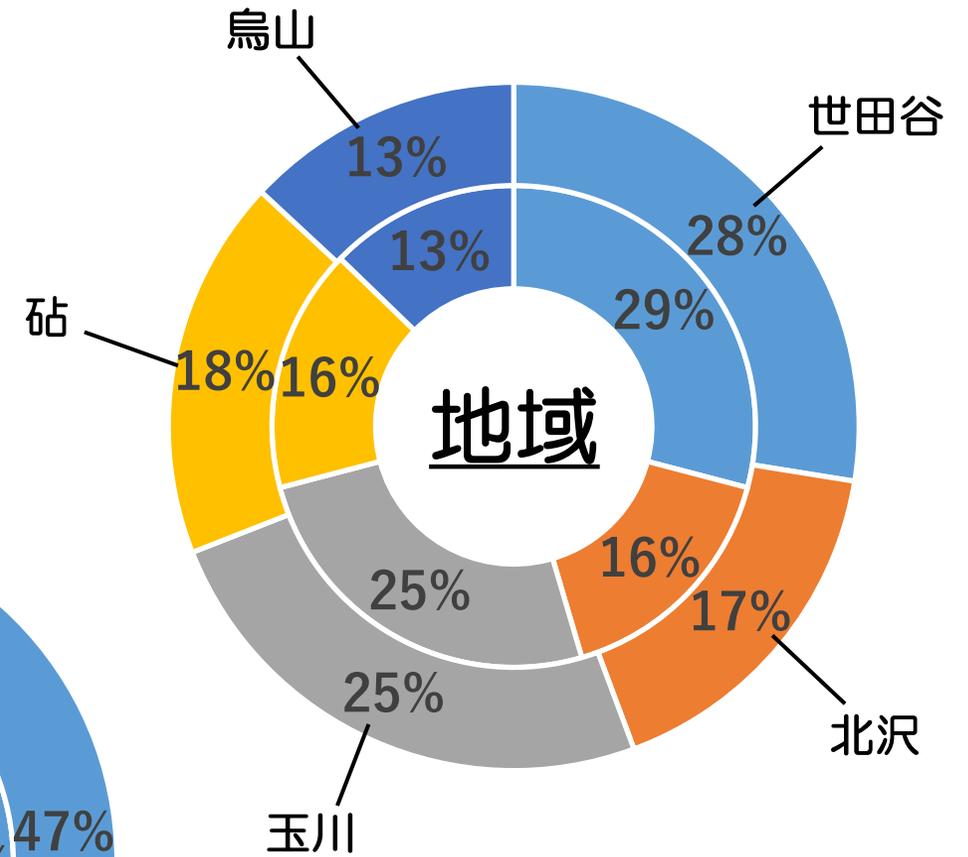
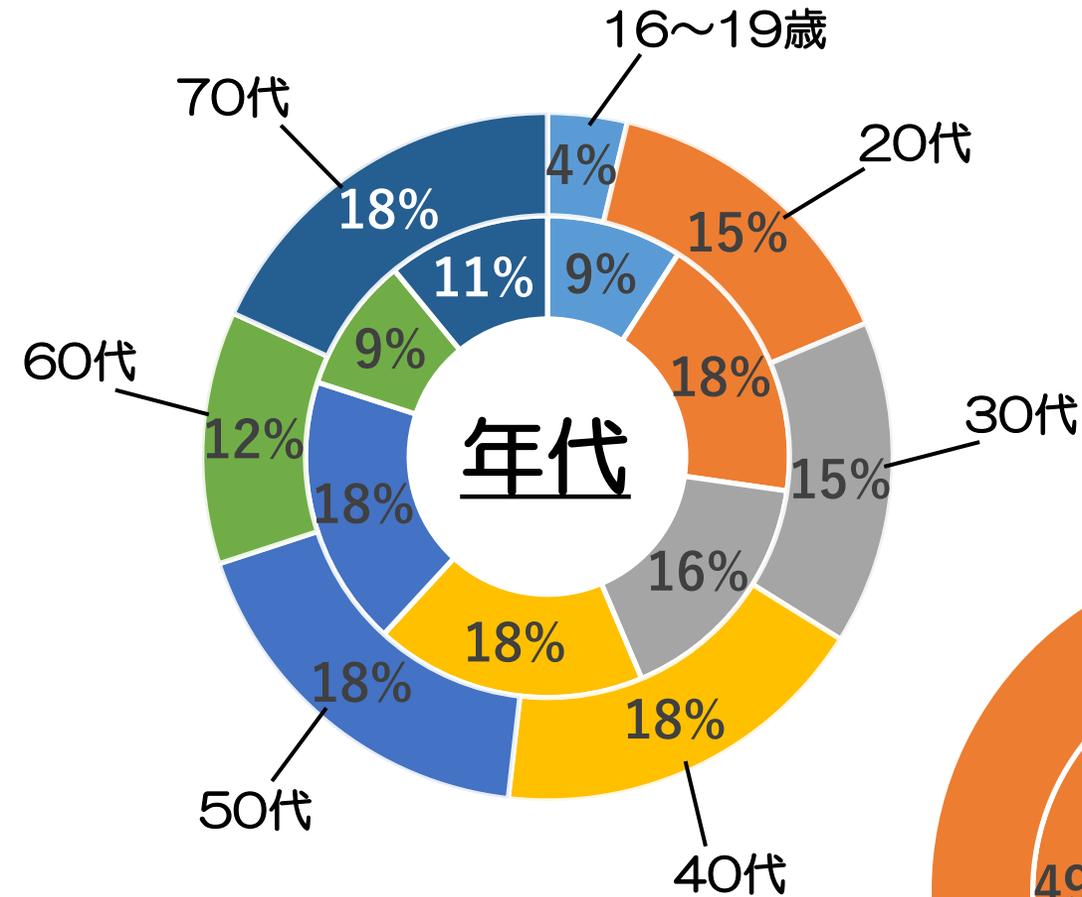
【海外】

- ✓ 2019年ごろから、イギリス、フランスをはじめとして多数の国で開催
- ✓ 自治体や地域レベルでも多数開催

【国内】

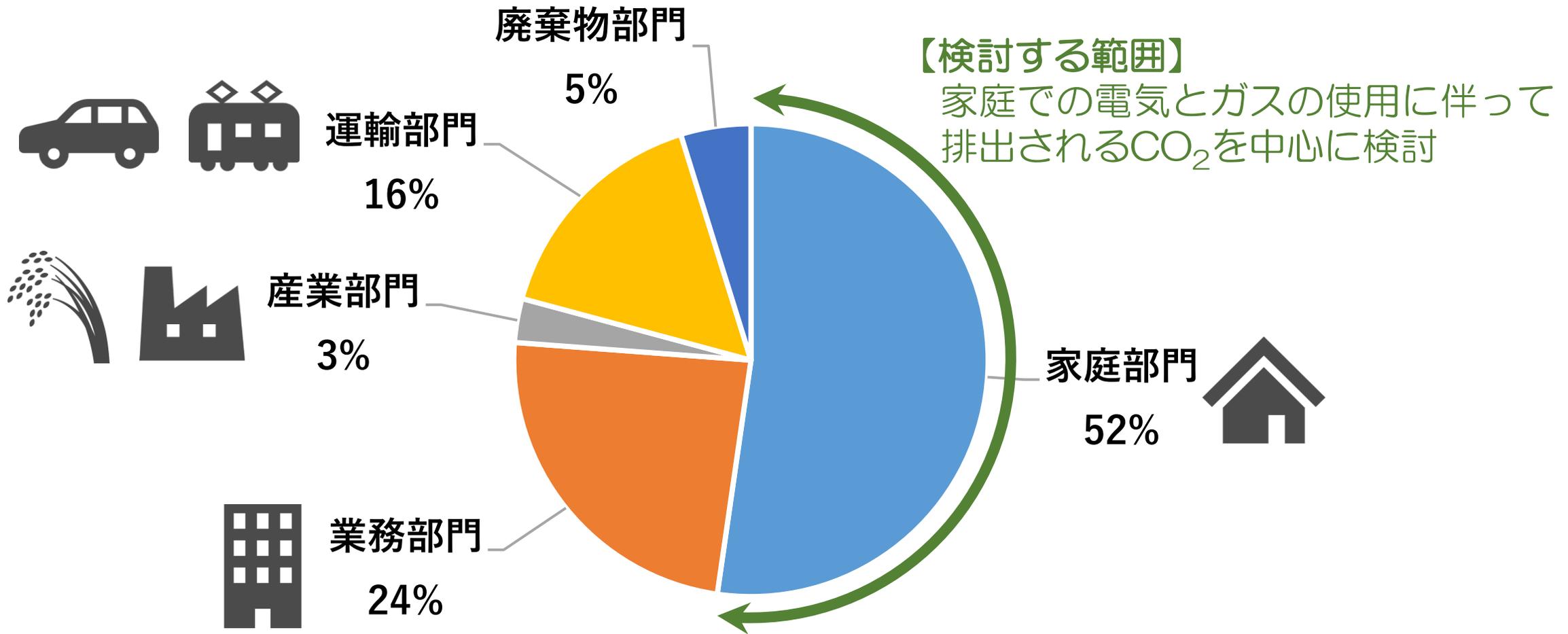
- ✓ 2020年に札幌市で初めて開催されたあと、多数の自治体や地域で開催
- ✓ 東京都では、武蔵野市、江戸川区、多摩市、日野市、杉並区、東村山市の6自治体で開催

この会議の参加者



外側：区全域
内側：参加者

〔世田谷区の二酸化炭素（CO₂）排出量の内訳（2021年度）〕



資料：特別区の温室効果ガス排出量（1990年度～2021年度）
（オール東京62市区町村共同事業）をもとに作成

【会議のゴール】

- ✓ 「脱炭素化しながらも暮らしやすい世田谷区」の実現に向け、身近な暮らしの脱炭素化のための行政の取り組みを「政策提言」としてまとめます。

【成果の活用方法】

- ✓ 提言の内容を精査したうえで、「家庭部門脱炭素化ロードマップ」に反映するとともに、区民全体への波及を狙います。



- ✓ 区長になったつもりで検討してみましよう！

第1回

気候危機についての理解を深めよう！



第2回

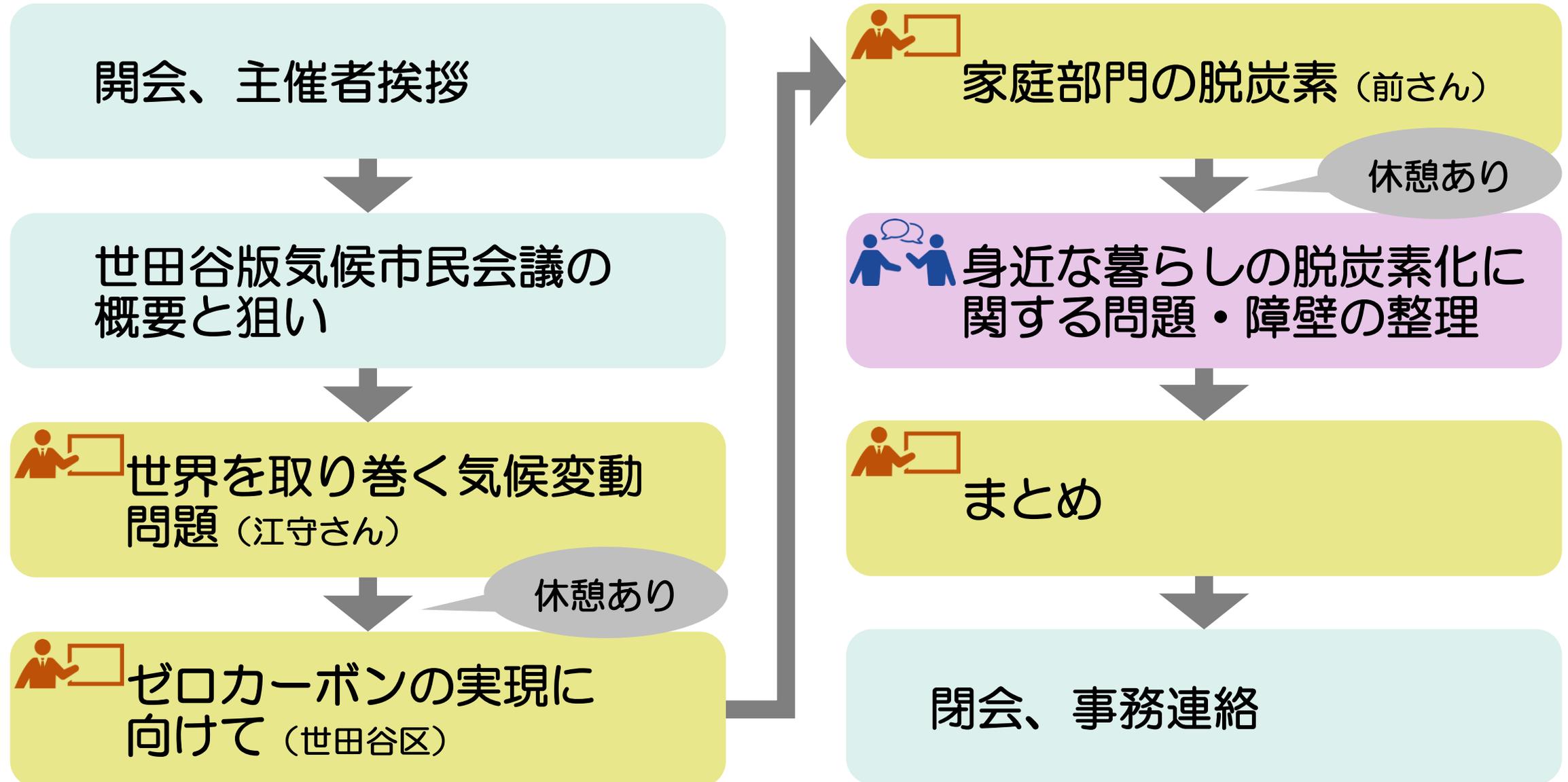
暮らしの脱炭素化について考えよう！



第3回

区への政策提言をとりまとめよう！

※ 全3回の流れは、今後、変更となる場合があります。





世界を取り巻く気候変動問題 (江守さん)

スライド切り替え



**全3回の会議で話し合いたい
ことや質問の共有**

【この会議で話し合いたいこと】

- ✓ここまでの説明や講演に対する感想
- ✓全3回を通じて、他の参加者と話し合ってみたいこと

など

【質問】

- ✓この会議を進めるに当たり、質問しておきたいこと

など



- ✓後ほど、主催者や江守さんに質問できます。
(本人又はグループの代表者から口頭で質問)

終了時刻
13:55

説明や講演に対する 質問と回答（10分間）

**休憩
(14:15まで)**

世田谷区長からのメッセージ



世田谷区
SETAGAYA CITY

世田谷版気候市民会議 (2024年度実施)



ゼロカーボンの実現に向けて (世田谷区)

スライド切り替え



家庭部門の脱炭素 (前さん)

スライド切り替え



情報提供や講演を聞いた 感想と質問の共有

【感想】

✓先ほどの情報提供や講演に対する感想

など

【質問】

✓この会議を進めるに当たり、質問しておきたいこと

など



✓後ほど、情報提供者や前さんに質問できます。
(本人又はグループの代表者から口頭で質問)

終了時刻
15:03

情報提供や講演に対する 質問と回答（10分間）

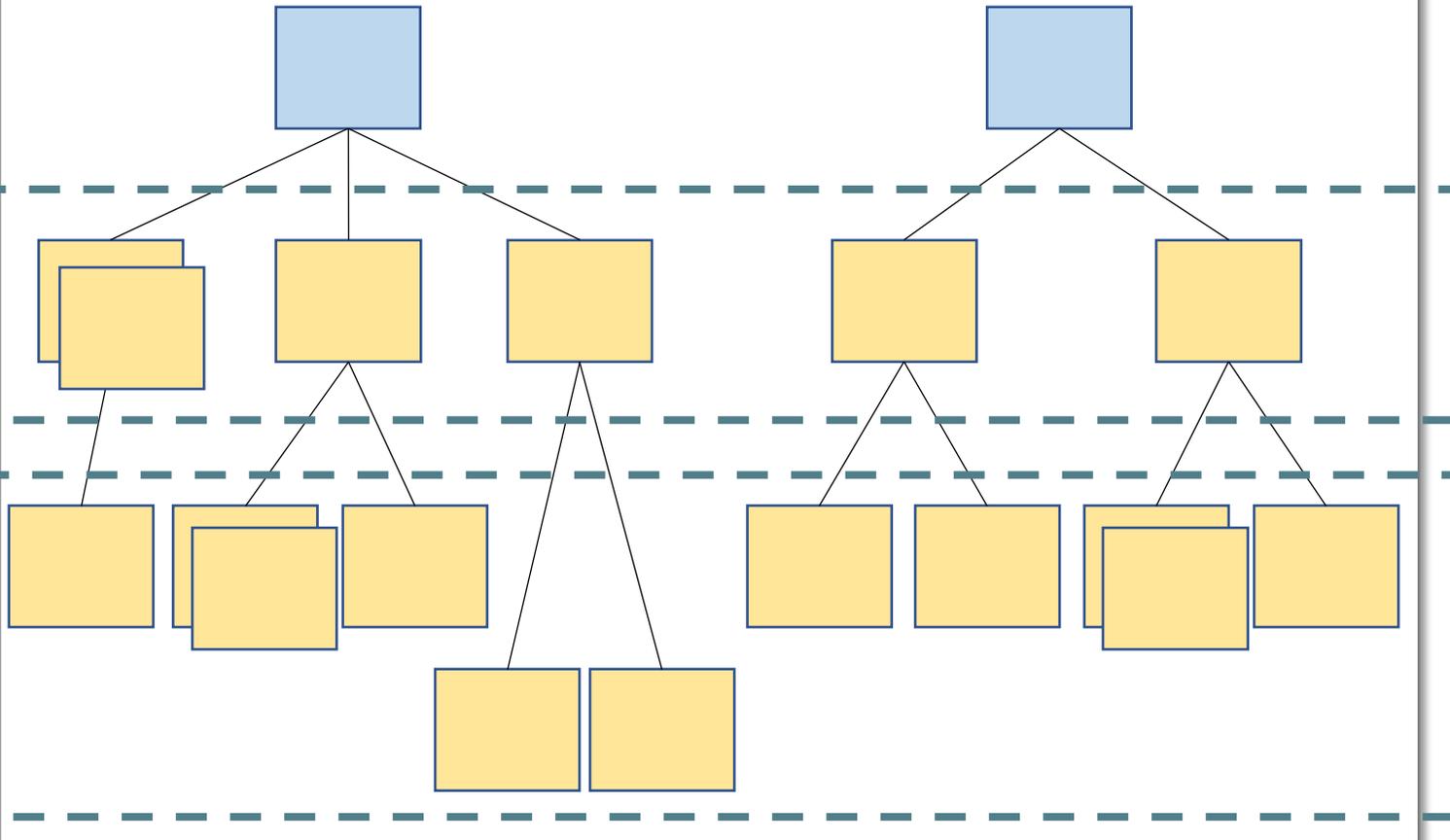
休 憩
(15:23まで)



身近な暮らしの脱炭素化に 関する問題・障壁の整理

太陽光発電1グループ

既存住宅への太陽光発電設備が普及しないのはなぜなのか？
どのような支援があれば普及が進むのか？



■ 行政が認識している
問題点

■ その問題点に対する
原因・障壁

階層1
問題点に対する原因・障壁

階層2
階層1に対する原因・障壁

【まずは個人で】

①行政が認識している問題点に対する原因・障壁を考える

- ✓情報が不足している？
- ✓本人へのメリットが小さい？
- ✓費用が高い？
- ✓別のリスクがある？

など

②考えたら、その内容をふせんに書く

- ✓1枚にひとつずつ書く
- ✓伝えたいことが分かるように書く
(例：●●にとって▲▲である)

【次はグループで】

③ふせんに書いた内容を貼りながら皆さんにお話する

✓ 1人ずつ順番に

✓ 最初は1人1分程度を目安に

✓ 似たような原因・障壁が出てきたら近くに貼る

④自由に意見交換する

✓ いろいろな人の意見を聞きながら、原因・障壁を細分化していく

✓ 追加したい意見がでてきたらふせんに書いて貼る

- ✓ 対話はキャッチボール。
短く話そう、よく聴こう！
- ✓ 途中で遮らない。最後まで聴こう！
- ✓ 違って当然。違いこそ可能性！
- ✓ 寄り道もOK！
でも、何の話し合いが忘れずに。



【まずは個人で】

- ①行政が認識している問題点に対する原因・障壁を考える
- ②考えたら、その内容をふせんに書く
 - • 併せて3分

【次はグループで】

- ③ふせんに書いた内容を貼りながら皆さんにお話する
 - • 1分×人数
- ④自由に意見交換する
 - • 約25分
- ⑤ふせんの位置などを整理する
 - • 約5分

- 細分化した原因・障壁に対して、次回、それを解決するための取り組みを検討して頂きます。
- 本日は原因・障壁の根本となっているところが洗い出された状態になることがゴールです。

本日のゴール

終了時刻
16:10

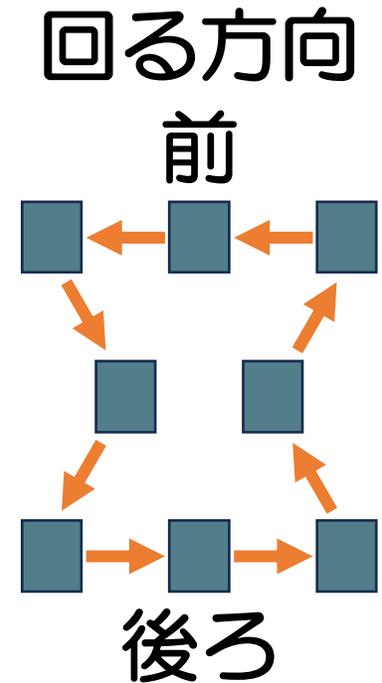
グループワークの結果の共有

【準備する】

- ①模造紙を見やすいように置く
- ②1人につき14枚シールを持つ

【他のグループを回る】

- ③隣のグループに移動して模造紙を眺める
 - ✓太陽光発電-1 ⇒ 太陽光発電-2 ⇒ … 省エネ行動-2 の方向に
 - ✓1グループにつき1分20秒を目安に（合図します）
- ④共感したところ、重要だと思ったところにシールを貼る
 - ✓1グループにつき1人2枚まで





まとめ (前さん・江守さん)

閉会、事務連絡

第1回

気候危機についての理解を深めよう！



第2回

暮らしの脱炭素化について考えよう！

次回



第3回

区への政策提言をとりまとめよう！

※ 全3回の流れは、今後、変更となる場合があります。

第2回テーマ

暮らしの脱炭素化について考えよう！

【日時】

2025年2月16日（日）

13:00～16:30（12:40受付開始）

【場所】

世田谷区立教育総合センター 研修室（たいよう）

（住所：世田谷区若林5-38-1）

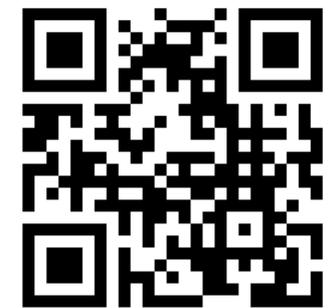
本日と同じ

自分のカーボンフットプリントを計測してみる

じぶんごとプラネット

気候変動を じぶんごとにする

脱炭素で持続可能な未来のために、ひとりひとりが今の生活スタイルの気候変動への影響を知り、小さなことから一つずつアクションを起こす。こうして「じぶんごと」の輪が広がっていきます。



<https://www.jibungoto-planet.jp/>

出典：じぶんごとプラネットWEBサイト

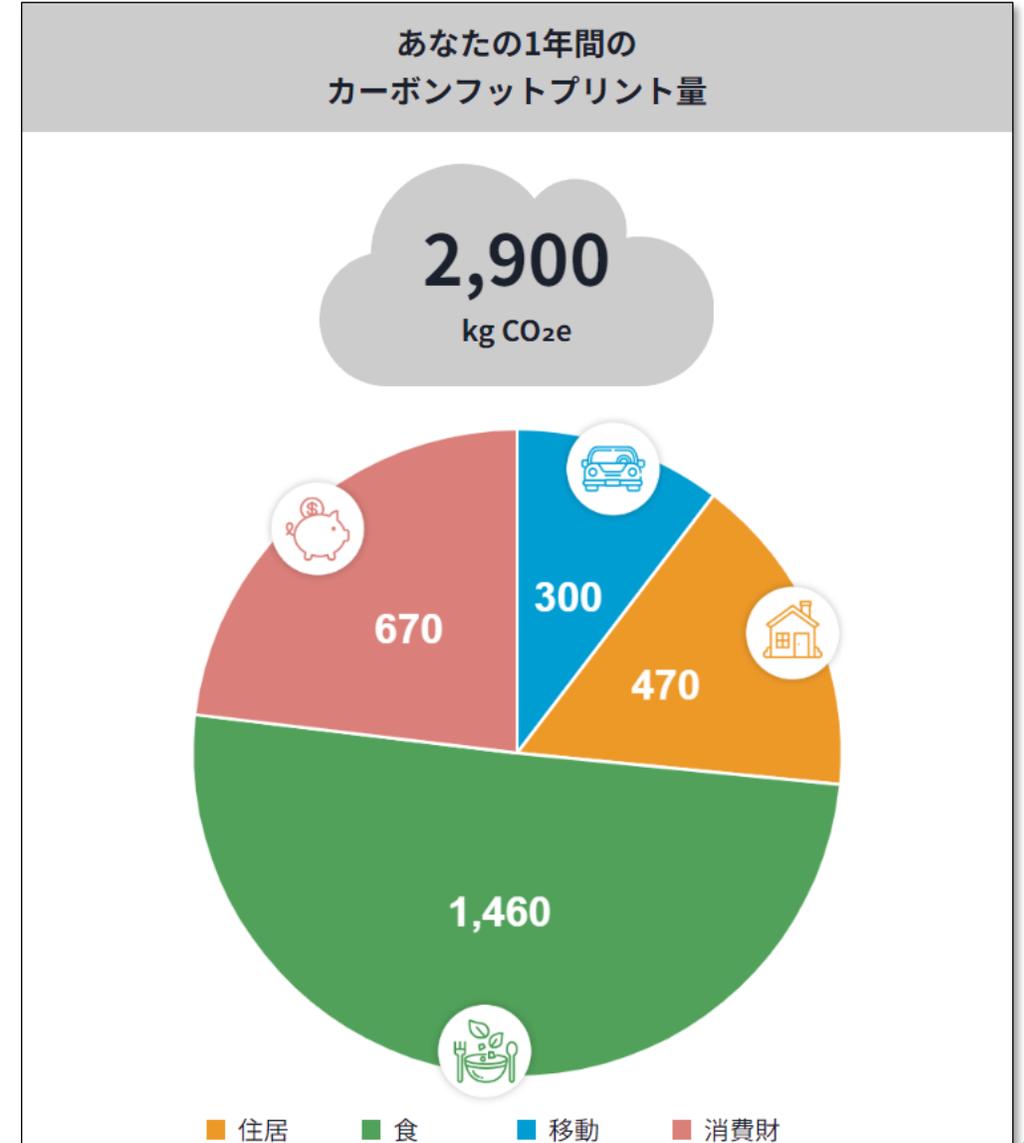
質問に答えると
カーボンフットプリント量がわかる

| | |
|---|--|
|  住居 約10問 |  食 約6問 |
|  移動 約7問 |  モノとサービス 約8問 |

識別ID:

[脱炭素アクションをみる](#)

[社会へ働きかけるには](#)



出典：じぶんごとプラネットWEBサイト

- ✓ アンケートにご協力をお願いします。
（スマートフォン利用の場合の回答期限：1月29日〔水〕）
- ✓ 名札は外してテーブルに置いたままをお願いします。
- ✓ この場で謝礼をお渡しします。
おかけになったままお待ちください。
受領証への記入をお願いします。